

もくじ

- ・ あか 赤いろうそく と にんぎょ 人魚

あか 赤いろうそく と にんぎょ 人魚

げんさく 原作： おがわ みめい 小川 未明

イラスト： kotokoto

へんしゅう 編集： YellowBirdProject

3

人魚が住んでいたのは、青く冷たい、北の海でした。

ある晩、人魚は水面に浮き出た岩に上がって、
辺りの景色をながめていました。時折、雲のすきま
からこぼれた月の明かりが、海の上をさびしく
照らしていました。

人魚は長い間、話しをする相手もなく、いつも
明るい海の上で暮らす人間たちにあこがれていました。

(私たち人魚の姿は、人間とほとんど変わらない。
それなのになぜ人魚は人間ではなく、こんな冷たい
海の中で、魚たちと一緒に暮らさなければいけない
の?)



5

にんぎょ　じぶん　なか　やさ
人魚は自分のお腹を優しくなでました。

にんぎょ　なか　なか　こ
人魚のお腹の中には、子どもがいました。

(これから生まれてくる子どもには、こんな暗い、
かな　せいかつ　はな　く
悲しい生活はさせたくない。離ればなれで暮らすのは
さびしいけれど、どこにいても元気で暮らして
げんき　く
くれるのならば、それだけでいい。人間はみな優しい人
にんげん　やさ　ひと
ばかりだから、きっとこの子もかわいがってくれる
はず)

しばらくして、にんぎょ　くら　つめ　うみ　およ　りくち
人魚は暗く冷たい海を泳いで、陸地
む　かなた　かいがん　こだか　やま
に向かいました。はるか彼方、海岸の小高い山にある
じんじゃ　あか　なみま　う　き
神社の灯りが、波間に浮かんでは消えていました。

